

令和6年度 ハンドボール部の指導方針等について

令和6年4月19日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	佐藤 要介	石原 賢治	指導歴8年	週5日
副顧問	角屋 俊一	中村 有美	指導歴2年	週2日

2 年間目標

- (1) 「生徒が自立した組織づくり」
チームの方針や課題などを生徒が自ら考え、目標達成に向けて努力できる生徒。
- (2) 「大会目標の設定」
インターハイ予選でチーム創部以来悲願であるベスト16以上を目指し、チームで日々課題に取り組む。

3 指導方針

- (1) 練習量の管理
練習は週5日に設定。平日は2時間半、週末は4時間程度という短時間の中で集中力を高める。更に月4回程度練習試合を実施することで、自分たちの成長や課題を確認し、課題の克服に取り組む。試合、ミーティング、練習のサイクルを行うことで、チームのレベルアップを促す。
- (2) 生活習慣や規律の徹底
挨拶や正しい言葉使い、遅刻や欠席等の連絡を確実に行うなど社会性を身に付けるとともに、一人ひとりが部の一員である意識を持ち、協調性や責任感を養う。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 活動の手順

- (1) 更衣・練習用具の準備(部室の整理整頓・貴重品の管理・施錠)
- (2) ミーティング(練習方針の共有)
- (3) ウォームアップ
- (4) 基礎練習・応用練習・実践練習
- (5) クールダウン
- (6) ミーティング(振り返り・活動日時の確認)
- (7) コート整備・片付け・更衣